

サンプル

特定企業調査報告書

(株式会社デンソー サマリー)

株式会社AIRI

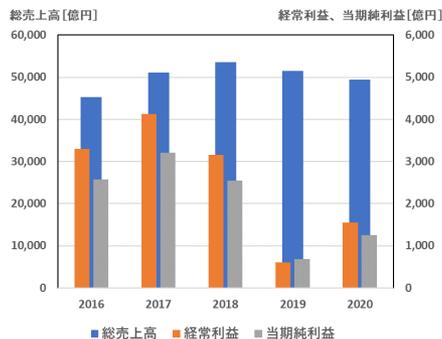
1. 会社概要

■概要

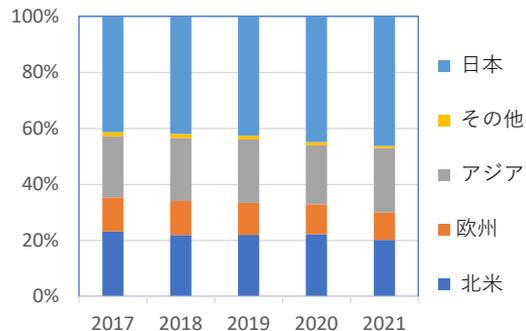
本社所在地	愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
設立年月日	1949年12月
年間売上高	49,367億円(2021年3月)
従業員数	168,391人(2021年3月現在)

■業績推移

新型コロナウイルス感染症の拡大による市場減速の影響により車両販売が減少したため、減収となりました。



セグメント別売上高比率は、日本でトヨタ自動車向けが増加したものの、北米、欧州は減収により減となりました。



2. 事業概要

- 同社グループは、同社、子会社200社、関連会社88社から構成されています。
- 自動車関連分野を中心とする幅広い分野において以下の7つの事業において、モビリティ社会の可能性を広げていくために取り組んでいます。

事業	概要	売上比率 (2020年度)	
車載事業	エレクトロフィケーションシステム	電動車システム 	19.4%
	パワートレインシステム	エンジン制御システム 	22.5%
	サーマルシステム	熱マネジメント技術 	23.6%
	モビリティエレクトロニクス	センサー、ECUなど統合的システム 	21.9%
	先進デバイス	新しいデバイスの創出	3.0%
	非車載事業	インダストリアルソリューション	自動化機器 
フードバリューチェーン		施設園芸	

3. 研究開発情報

■ 研究開発体制

基礎研究所、世界7極のテクニカルセンターのほか、2030年長期方針に基づいて以下の4つの注力分野、電動化、先進安全・自動運転、コネクティッド、非車載事業（FA・農業）の開発を強化しています。

注力分野	開発拠点	概要
電動化	電動開発センター、安城製作所	開発棟、耐久棟、屋外試験路、量産ラインの立上げ用の工場
先進安全・自動運転	ピッツバーグ・イノベーション・ラボなど	高度運転支援技術Advanced Drive向け製品開発
コネクティッド	Global R&D Tokyo, Haneda	自動運転への5G活用
非車載事業（FA・農業）	(株)デンソーアグリテックソリューションズ	Factory-IoTプラットフォームの開発

■ 研究開発費

研究開発費内訳(2020年度、億円)

セグメント	研究開発費
日本	4,406
北米	273
欧州	108
アジア	127
その他	6
合計	4,920

4. 知財情報

■ 知財体制

海外での事業展開を支えるため、北米、欧州、中国の開発・設計拠点内に知財組織を設け、現地発明に関わる知財権の取得や、他社知財権の調査を強化しています。全地域の知財スタッフが集まるグローバル知財会議を開催し、グループ全体および各地域の課題解決と活動活性化を図っています。

5. 各国・地域への特許出願動向(1)

■ 国・地域別の特許出願動向は下記のとおりです。

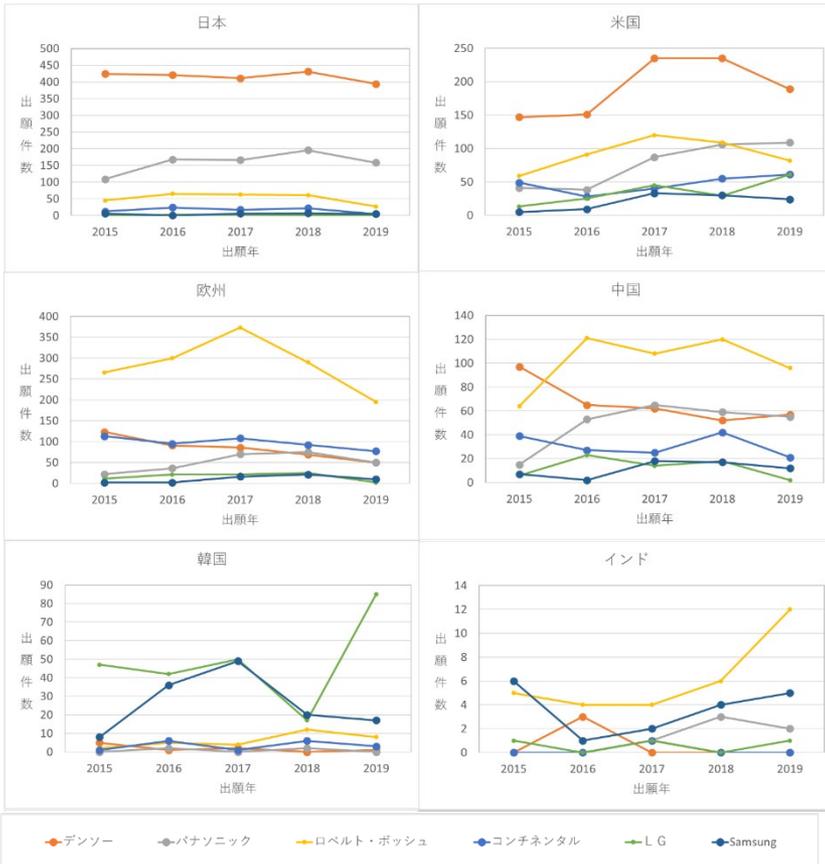
同社は、日本国内へパナソニックに次いで多数の出願を毎年安定して行っています。米国、中国、インドへの出願はSamsung、LG、社が多く、同社の出願数はコンチネンタル社と同程度となっています。



5. 各国・地域への特許出願動向(2)

- 交通制御システム(IPC G08G)の技術分野の国・地域別の特許出願動向は下記のとおりです。

交通制御システム(IPC G08G)の分野で、国内、米国へ最も多い出願を行っています。特に、道路上の車両に対する自動走行システム(G08G1/00)の分野の出願が多くなっています。



6. 注目技術と関連特許

- 注目記事

タイトル	書誌	記事概要
デンソー、ト レーラーのブ レーキ温度監 視システム	2021/04/ 21 日刊自 動車新 聞 3ページ	同社はトレーラー（被けん引車）のブレーキ温度を監視し、必要に応じて警告を出すシステムを日通商事と共同開発した。日通商事と日本トレックスが製造するトレーラーに搭載して4月下旬から販売開始する。共同開発したシステムは、トレーラーのドラムブレーキ内に温度センサーを取り付け、異常な高温、急激な温度上昇、他の車輪との温度差を検知すると、トレーラ前端に設置した警告インジケータで、サイドミラー越しに運転手に警告する。今後、取付性などを改善して後付けタイプの発売も検討する。

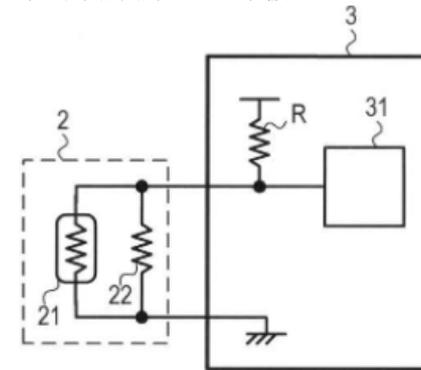
- 注目記事の関連特許

出願番号	公開番号	FI	技術単位
特願 2017-087384 (2017/4/26)	特開 2018-185004 (2018/11/22)	F16D66/00 Z、F06D66/02 D、 B60T17/22 Z、G01K1/14 Z	3W(2F)
発明の名称		出願人	
温度センサ		株式会社デンソー、日通商事株式会社	

【課題】 摩擦警告音を発生させることなくブレーキライニングが摩耗した異常状態を判定する技術を提供する。

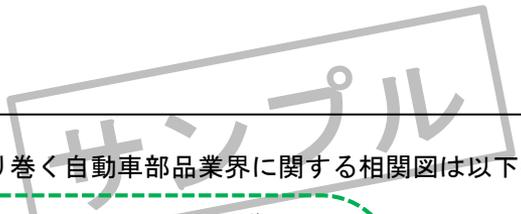
【解決手段】 センサ本体 2 1 は、車軸と連動するブレーキドラムにブレーキライニングを押し付けることで制動力を生じさせるドラムブレーキの温度を検出するため、ブレーキライニングが取り付けられるブレーキシューが予め設定された許容量を超えて摩耗した場合に、ブレーキドラムと接触する位置に配置される。抵抗器 2 2 は、センサ本体 2 1 に対して並列接続され、ブレーキシューが許容量を超えて摩耗した場合でも、ブレーキドラムとは非接触となる位置に配置される。

【キーワード】 ブレーキ、摩耗、抵抗器、センサー、警告

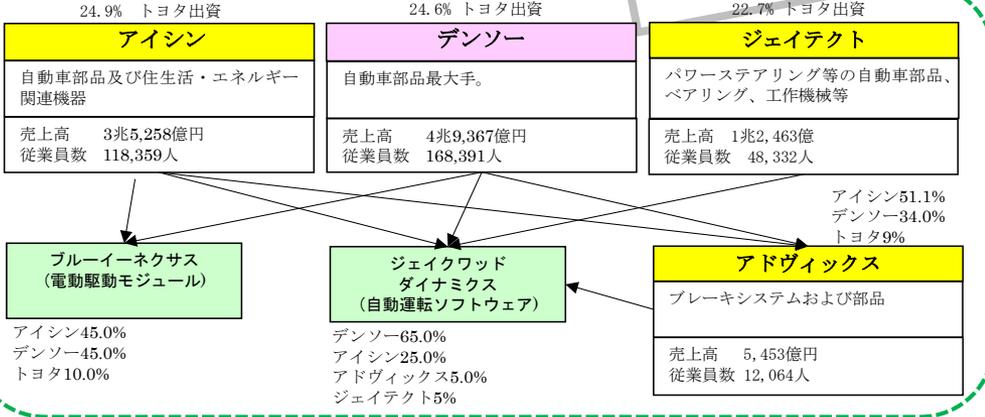


7. 業界相関図

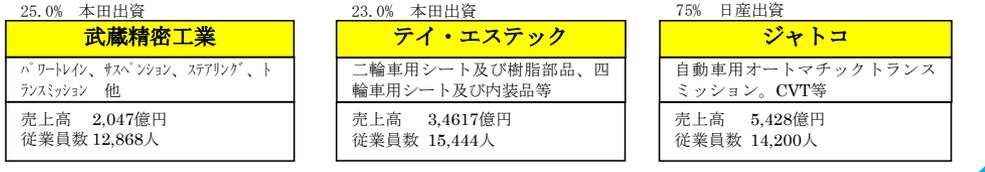
デンソーを取り巻く自動車部品業界に関する相関図は以下のとおりです。



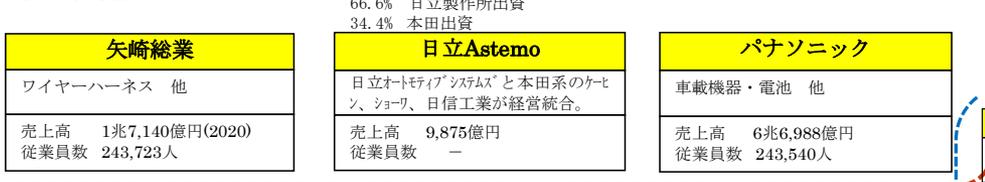
トヨタ系部品メーカー



ホンダ・日産系部品メーカー



独立系部品メーカー



海外メーカー

